

## 1 本校における ALT を活用した外国語活動の取り組み

本校の外国語活動は、「Hi, friends!」を活用し、文部科学省の指導案を基として指導計画を立てて行っている。その際、担任と外国語担当が話し合っ、本校の児童の実態を踏まえ指導内容を吟味し、児童の活動や学級担任・ALT の支援の方法を考えている。また、ALT の指導当日には、授業前に外国語担当者と ALT が学習内容と使用する教材の確認をしている。

### ○ ALT の活用

ALT のネイティブな発音に数多く触れさせるため、活動で扱う英単語や短い文は ALT の発音を聞かせ、繰り返し言わせたり、活動内容の説明を英語で聞かせたりするようにしている。また、ALT の出身地や外国の様子を紹介したり、ALT の考えたゲームなども取り入れたりしている。

## 2 活動（実践）内容

### 5年 What do you want? 「アルファベットをさがそう」 4/5時間

#### (1) 導入

- ① あいさつをして英語の歌を歌う。(CD)
- ② 〈Chant 1 Alphabet Chant〉音声教材を聞かせ、アルファベット順に黒板に貼られた教師用カードを指し示しながら教師も一緒に言う。(デジタル教材)

#### (2) 活動

- ① 「チェーンゲーム その2」をする。
  - ・ 5～6人の列を作る。
  - ・ 代表児童と ALT がデモンストレーションをして、ゲームの進め方を示す。
  - ・ ALT が言った単語のアルファベットを先頭の子から順に伝えていく。最後の子が黒板に前の子から聞いたアルファベットのカードを貼る。
- ② 〈Chant 2 What do you want?〉音声教材を聞かせ、教師も一緒に言う。
- ③ 「カード集めゲーム」をする。
  - ・ 巻末児童用カードを5枚選んで持つ。
  - ・ 友達とじゃんけんをして、同じアルファベットのカードを集める。
- ④ 〈Activity〉
  - ・ 身の回りから見つけたアルファベットを使った言葉をカードを使って並べる。(写真①)
  - ・ 自分が見つけた言葉と友達見つけた言葉を紹介し合う。
  - ・ 全体の場で発表する。(写真②)



(写真①)



(写真②)

#### (3) 成果・課題

- ・ 子ども達は予想以上に外国語の言葉を知っていて、楽しく活動ができた。
- ・ ALT との活動を多くしたことで、子どもたちの方から抵抗なく発表することができた。
- ・ ALT の派遣回数を増やしてほしい。
- ・ 当日、ALT との時間をあまり取ることができず、活動内容を確認することが大変だった。